

治療スケジュール

F-7

*レジメン名	ラムシルマブ+FOLFIRI療法(14日間)(大腸)								
*投与量・投与日	レボホリナート200mg/m ² d1、 イリノテカン150mg/m ² d1、 5FU400mg/m ² d1、 5FU2400mg/m ² d1、 サイラムザ8mg/kg d1								
*手技	癌	*薬品名・*用法・コメント・*休薬完了	*数量	*単位	点滴時間・点滴速度	d(1)	d(14)	d()	d()
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		ロック用生食	10	mL		○			
		1日1回							
		開始時 CVポートフラッシュ							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	100	mL	15分	○			
		グラニセトン静注液 1mg	1	A		○			
		デキサート注射液	4.95	mg		○			
		ボララミン注 5mg	1	A		○			
		1日1回							
		メイン①							
		点滴開始時にアプレピタントカプセル服用							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	250	ml	60分	○			
	☆	サイラムザ	8	mg/kg		○			
		1日1回							
		メイン②							
		インフュージョンリアクション認めなければ次回より30分に短縮可							
		0.2μmインラインフィルター使用							
		infusion reaction G2以下:投与速度50%へ減速							
		infusion reaction G3以上:中止、かつ再投与なし							
		無菌製剤処理料1							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	50	mL	15分	○			
		1日1回							
		メイン③							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注	250	mL	2時間	○			
		レボホリナート点滴注	200	mg/m ²		○			
		1日1回							
		側管④							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注	250	mL	90分	○			
	☆	イリノテカン注	150	mg/m ²		○			
		1日1回							
		メイン④ 側管④と併流							
		無菌製剤処理料1							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	50	mL	5分	○			
	☆	フルオロウラシル注	400	mg/m ²		○			
		1日1回							
		メイン⑤							
		無菌製剤処理料1							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	100	mL	46時間 3.7mL/h	○			
	☆	フルオロウラシル注	2400	mg/m ²		○			
		1日1回							
		全量140mLに。(トレフューザー typeT)							
		メイン⑥							
		無菌製剤処理料1							
		携帯型ディスプレイ注ポンプ(化学療法用)							
		休薬完了						●	
		以下別オーダー							
内服		アプレピタントCap	125	mg	d1				
		1日1回 1本目の点滴開始時							
内服		アプレピタントCap	80	mg	d2, 3				
		1日1回 朝食後							